(19)日本国特許庁(JP)

(12) 公表特許公報(A)·

(11)特許出願公表番号 特表平7-502908

第1部門第2区分

(43)公表日 平成7年(1995)3月30日

(51) Int.Cl.*

識別記号

庁内整理番号

A 6 1 C 15/04

503 7108-4C FΙ

密查請求 未請求 予備審查請求 有

(21)出願番号 .

特願平5-505087

(86) (22)出顧日

平成4年(1992)9月11日

(85)翻訳文提出日

平成6年(1994)3月11日

(86)国際出願番号 (87)国際公開番号

PCT/IE92/00007 WO93/04641

(87)国際公開日

平成5年(1993)3月18日

(31)優先権主張番号 2311/91

(32)優先日

1991年9月11日

(33)優先権主張国

アイルランド (IE)

(31)優先権主張番号 920,410 1992年2月7日

(32)優先日 (33)優先権主張国

アイルランド(IE)

(71)出願人 フォーファス

アイルランド国ダブリン 2. ウィルト

ン・プレイス (番地なし), ウィルト

ン・パーク・ハウス

(72)発明者 ベネット, クレイトン

アイルランド国ダブリン 4. サンディー

マウント、トリトンヴィル・ロード 121

(72)発明者 サリバン,アラン

アイルランド国ダブリン 15、キャストル

ノック、ピーチパーク・アペニュー 25

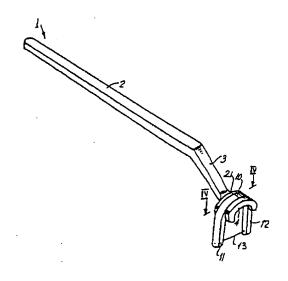
(74)代理人 弁理士 協茂 恭三 (外6名)

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 デンタルフロス装置

(57)【要約】

デンタルフロス装置(1、40、50、60、70) は、ヘッドピース(4)で終端となるシャンク(3)を 有するハンドル(2)を備える。使い捨て可能なデンタ ルフロス・ホルダ(5)は、ベース部分(10)と、隔 置された一対の顎部(11、12)とを備えており、こ れら顎部の間にはデンタルフロス(13)が伸長する。 ヘッドピース(4)は溝(20)を備えており、本装置 か総てのデンタルフロス使用方向において使用される時 に、ベース部分(10)はベース部分(10)の中に確 実に保持される。スナップ嵌合式の突出部(15)が、 フロスホルダ (5) の顎部 (11、12) から内方に伸 長し、溝 (20) のフロア (24) の縁部 (25) に係 合する。使用時には、フロスホルダ(5)を取り除き、 新しいフロスホルダ(5)を装着する。



請求の範囲

ヘッドピースを育するハンドルと、使い物で可能なデンタルフロス・ホルダと、飛起ホルダの被差及び取り外しを行うために前記ヘッドピースと即記ホルダとの間に設けられる解除可能な係合手段とを備えるデンタルフロス装置において、

即記ヘッドビース及び即記ホルダに投けられる前記解除可能な係合手及は、前 記ホルダが使用時に近遠心方向、頻舌方向及び協内切場方向に運動する間に、前 記ホルダを前記ヘッドビースの遮断に確実に保持するようになされていることを 特徴とするデンタルフロス管理。

- 2. 検求項1のデンチルフロス装置において、前記ホルダは、ベース部分と、 係置された一対の類部とを備え、これら類部は、その間にデンタルフロスを収容 するように前記ペース部分から伸長しており、また、前記解除可能な係合手段は、 和記へッドビースの前記ペースと前記ホルダとの間の係合手段を有することを特 後とするデンタルフロス整備。
- 3. 請求項1又は2のデンクルフロス金筐において、前記解除可能な係合手段は、前記ホルダ又はヘッドピースにおいて機方向に伸及する機と、前記ホルダ及びヘッドピースの他方に投けられてアセンブリに係合する視死的な告節とを備えることを特徴とするデンタルフロス袋屋。
- 4. 請求項3のデンタルフロス装置において、前配席は、対応する形状の告部 にかみ合うように、長年方向の新面において弧状の形状を有することを特徴とす るデンタルフロス装置。
- 5. 請求項 2 万室 4 のいずれかの デンタルフロス装置において、 削足解除可能 な風含手段は、 前記ホルダと前記へ ァドビースとの間のスナップ嵌合式の手段を 億えることを特徴とする デンタルフロス装置。
- 6. 請求項5のデンクルフロス装置において、前紀スナップ嵌合式の手段は、 前紀ホルダ又はヘッドピースに設けられる1又はそれ以上のスナップ嵌合式の突 出部を増え、拡突出部が、前紀ヘッドピース及びホルダの他方の1又はそれ以上 の対応する凹所に集合することを特徴とするデンクルフロス装置。

するデンタルフロス装置。

16. 請求項13万至15のいずれかのデンタルフロス装置において、前尼追加の保持手段は、前記ロック位置において前記へッドピースとスナップ接合式に係合することを特徴とするデンタルフロス装置。

17. 算水項16のデンタルフロス装置において、前記追加の保持手段には、前記ロック位置において創足ペッドピースに係合するスナップ嵌合式の突出部が投けられることを特徴とするデンタルフロス装置。

18. 譲収項1万至17のいずれかのデンタルフロス装置にないて、前記ハンド ・ルは、旅ハンドルに対して145°万至180°の間の角度で長手方向に横斜す るシャンク部分を育することを特徴とするデンタルフロス装置。

19. 請求項1万至18のいずれかのデンタルフロス装置において、前起ハンドルはシャンク部分を確え、前記ペッドピースは、ネッタ部に対して125°万至180°の間の角度で長手方向に模似することを特徴とするデンタルフロス装置。
20. 請求項1万至19のいずれかのデンタルフロス装置において、当該デンタルフロス装置がブラスチック材料から実質的に形成されることを特徴とするデンタルフロス装置。

21. 脚攻項20のデンタルフロス装置において、約記へッドピースは、約記ホルダと同じプラスチック材料から形成されることを特徴とするデンタルフロス装置。

22. 賃求項20のデンタルフロス装置において、前記ホルダの少なくとも一部が、前配へっドビースのブラスチック材料と異なったプラスチック材料から形成されることを特徴とするデンタルフロス装置。

23. 添付の図面を参照して説明したデンタルフロス装置。

7. 請求項6のテンタルフロス装置において、前記スナップ式の突出部及び前記対応する凹所は、前記ホルダの取締、並びに、前記ヘッドピースの前記簿に勝 接して设けられることを特徴とするデンタルフロス装置。

- 8. 鎮攻項7のデンタルフロス数置において、前記突出配は、前記ホルダの育 記額部から内方に伸長し、前記ヘッドピースの前記簿に廃使して设けられる対応 する凹所に係合することを特徴とするデンタルフロス数度。
- 9. 横京東3万至5のいずれかのデンタルフロス装置において、前記スナップ 嵌合式の突出部は、新記ホルダ及びヘッドピースの一方から伸及し、前記ホルダ 及びヘッドピースの他方に设けられる構完的な形状の凹所に係合することを特徴 とするデンタルフロス発症。
- 10. 蘭東項 9 のデンタルフロス装置において、スロットにより形成される凹所 に低合するように隔値され且つ反対方向に同いた 2 つのスナップ嵌合式の突出家 を搬えることを特徴とするデンタルフロス粧屋。
- 1.1. 独求項10のデンタルフロス整確において、何記スロットは前記ホルダに 設けられ、また、前記スナップ式の突出部は、前記スロットの中にスナップ式に 嵌合するように前記ペッドビースから仲長することを特徴とするデンタルフロス 装度。
- 12. 譲水項 9 万至 1 1 のいずれかのデンタルフロス数確において、前に横方向 に伸長する森の両塊部が閉じており、前配舌部を確実に保持することを特徴とす るデンタルフロス発展。
- 13. 様次項 1 乃至 1 2 のいずれかのデンタルフロス設度において、前にヘッド ビースは、 はヘッドビースの装着及び取り外しを行うための解放位置と、前足ヘッドビースを前記ホルグの中に質ね包囲するロック位置との間で運動する追加の 保持手段を備えることを特徴とするデンタルフロス装置。
- 14. 譲攻項13のデンタルフロス装置において、耐起追加の保持手段は、耐犯 ヘッドピースに対してヒンジ式に接続されることを特徴とするデンタルフロス装 医。
- 15. 請求項【4のデンタルフロス装置において、前記追加の保持手段は、刑記ペットピースに対してライブヒンジによってヒンジ式に接続されることを特徴と

明节

デンタルフロス装置

本発明は、ヘッドピースを育するハンドルと、使い捨て可能なデンクルフロス・ホルダと、上記ヘッドピースと上記ホルダとの間に設けられて上記ホルダの取り付け及び廃棄を行うための解除可能な係合手及とを増えるタイプのデンタルフロス装置に関する。

上記タイプのデンタルフロス装置が米国特許第3.892,249号に記載されている。この従来の明顯書に記載される装置は、内側を向いた限率を有する滴曲したヘッドピースを具備するハンドルを備えており、上記知師は、デンタルフロス・ホルダの補完形状を有する形成節とかみ合う形成節を有している。上記ホルグは可換性を有する材料から形成されており、ヘッドピースの引部及び製作の圧力に適合するように曲かる。

上述のタイプの周知のデンタルフロス装置に伴う問題の1つは、ヘッドピース に対するデンタルフロス・ホルダの係合及び分離が困難であることである。また、 口の中で使用しているデンタルフロス・ホルダがヘッドピースから分離してしま う危険性も高い。

本発明は、周知の鼓団に伴う上述の問題の少なくとも扱つかを解消するデンタ ルフロス等度を提供しようとするものである。

本発明の特徴は、使用中のホルグが近遅心方向、経舌方向及び宿内切場方向へ 動く間に、ヘッドピース及びホルグに設けられる解除可能な風合手段が、上記ホ ルグをヘッドピース上の週所に確実に保持するように揮成されたところにある。

上記様成の利点は、毎用する無柄の総での方向において、本装置を効果的且つ 安全に使用できるようにすることである。近中心方向とは、実質的に水平な平面 において歯の面を視断する方向を意味する。頻色方向とは、実質的に水平な平面 において隣接歯間で運動することを意味する。歯内切傷方向の運動とは、垂直な 平面におけるデンタルフロスの運動を意味する。

本発明の一実施例においては、上記ホルダは、ベース部分並びに簡度された一

対の移動を含え、これら収録はその間にデンタルフロスを収容するように上記ペース部分から体長しており、また、上記解除可能な係合手数は、上記ペッドピースのペースと上記ホルダとの間に係合手段を備えている。この様成は、使用時のデンタルフロスの運動を容易にすると共に、製造を容易にする。

フロスは、上記観節と一体にするか、あるいは、狭装制等の如き適宜な手段によって観節に取り付けることができる。

本発明の行主しい実施例においては、上記解験可能な係合手段は、上記ホルダ 又はヘッドピースにおいて横方向に伸長する消と、上記ホルダ及びヘッドピース の他方に設けられてアセンブリに係合する横楽形状を育する告報とを無える。

機方向の構及び否部を設けることにより、使用時の独皮を保つと共に、ホルダ の取り付け及び取り外しが容易になるという特定の効果がもたらされる。

解除可能な係合手段は、ホルダとヘッドピースとの間に致けられるスナップ版 合式の手段を備える。上記告部及び歳の様成に加えてスナップ版合式の係合を行 うことにより、取り付け及び取り外しか容易になると共に、使用時に発生する力 に抵抗する徴味力がもたらされる。

ある例においては、スナップ嵌合式の手段は、ホルダ及びペッドピースの一方に設けられる1又はそれ以上のスナップ嵌合式の突出部を備え、該突出部は、上記ペッドピース及びホルダの他方に設けられる1又はそれ以上の対応する回所に係合する。該等及び傾成を容易にするために、上記スナップ嵌合式の突出部及び対応する凹所は、上記ホルダの朝部、並びに、上記ペッドピースの漢に隣接して設けられるのが好ましい。代表例においては、上記突出部は、ホルダの碧部から内方に伸発し、上記ペッドピースの漢に隣接して設けられる対応する凹所に係合する。

装着も容易にしまた使用時の物度を高めるために特に呼ましい実施例において は、上記簿は、対応する形状の舌部に係合するように、長手方向の断面において 弧状の形状を育する。

本発明の制の実施例においては、上記スナップ使合式の突出感は、上記ホルダ 及びヘッドピースの一方から仲長し、上記ホルダ及びヘッドピースの仙方の楠発 的な形状の凹所に係合する。代表例においては、スロットにより形成される凹所 に係合するように関係され且つ反対の方向を向いた2つのスナップ総合式の交出 部が投けられる。領道及び使用を容易にするための例においては、上記スロット は上記ホルダに投けられ、上記スナップ式の突出部は、上記スロットにスナップ 式に依合するように上記へッドピースから仲長する。

本発明の別の実施側によれば、上記ヘッドピースは、飲ヘッドピースの較著及 び取り外しを行うための解放位度と上記ヘッドピースを上記ホルダの中に概ね包 囲するロック位置との間で運動する追加の保持手段を構える。この構成は、装置 の構造を特に強くする。

構成及び使用を容易にするために、上記途加の保持手段は、例えばライブセン グによって、上記へッドビースにヒンジ式に接続することができる。

強度を高めまた使用を容易にするために、上記追加の保持手段は、代表的には この追加の保持手段に设けられるスナップ式の突出悪によって、上記ロック位置 において上記ヘッドビースとスナップ式に依合する。

本発明の別の実施例においては、上記解除可能な係合手段は、上記ホルダのヘッドピースから神長して上記ホルダ及びヘッドピースの他方に設けられる維充形 状のソケットに係合する口会を使える。

特に呼ぎしい構成においては、上尼ソケットは上紀ヘッドピースに設けられ、 また、上紀口会は、上記ホルダから伸長して上記ソケットに届合する。

上にハンドルは、鉄ハンドルに対して145°万至180°の間の角度で長季 方向に傾斜するシャンク配分を考えるのが好ましい。

また、上紀ハンドルはシャンク部分を構え、上紀ヘッドピースは、ホック部に 対して125°乃至180°の間の角度で長手方向に傾斜するのが行ましい。

本装置は、プラスチック材料から実質的に形成されるのが極めて好ましい。上 記へッドピースは、上記ホルダのプラスチック材料と同一又は異なるプラスチッ ク材料から形成することができる。

本発明は、派付の図面を参照して単なる例示として行う以下の説明からより明 酸に孤解されるであろうか、図面においては、

図1は、本発明の一変範囲によるデンタルフロス装置の斜視図であり、 図2は、図1のデンタルフロス確定の分解図であり、

図3は、上記装置の側面図であり、

図4は、上記装置の断面図であり、

図5は、上記装置の作用を示す説明図であり、

図6は、本発明の他のデンタルプロス装置の斜接図であり、

図7は、図6の数値の分解図であり、

図8は、図6の装置の断面図であり、

図9は、本発明の他のデンタルフロス装置の斜視図であり、

図10は、図9の装置の分解図であり、

図11は、図9の装置の側方部分断面図であり、

図12は、本発明の他のデンタルフロス装置の斜視図であり、

図13は、図12の装置の分解図であり、

図14は、図12の装置の例方部分断面図であり、

図15は、本発明の別のデンタルフロス装置の斜視図であり、

図16は、図15のデンタルプロス装置の分解図であり、

図17は、図15の装度の新面図である。

最初に図面の図1万至図5 も参照すると、その金体に参照符号 1 が付きれている本発明のデンタルフロス装置が示されている。装置 1 は、ヘッドピース4 で終端となっているシャンク部分3 を育するハンドル2 を備えている。デンタルフロス鉄度 1 はまた、使い捨て可能な デンタルフロス・ホルダ5 も 備えており、該ホルダ5 及びヘッドピース4 は、ホルダ5 の装着及び取り外しを行うための解除可能な 係合手段を備えている。

ホルダ5は、この場合には長手方向の断面において弧状の形状を有するペース 部分10と、隔置された一対の物部11、12とを構えており、これら項部は、 その間にデンクルフロス13を収容するようにペース部分10から伸長している。 デンタルフロス13は、ホルダ5と一体に成形することができ、また、接着剤の 如き適宜な手段によってホルダに取り付けることもできる。

この場合の解除可能な係合手段は、スナップ版合式の突出部15を備えており、 これら突出部は、図4及び図2から特に分かるように、ホルダ5の報部11、1 2から内方に仲長している。 ハンドル2のヘッドピース4は、国立する一対の資邸21、22とヘッドピース4のフロア24との間に形成されて検力同に伸長する溝20を構えている。 演20は、ホルグ5のベース部分10の形状及び寸法と同様の形状及び寸法を有しており、また、溝20のフロア24の機器25は、スナップ嵌合式の突出部15が上配票のフロア24の機能25に着空した時に、上配突出部15を収容するように丸くなっている。フロスホルグ5のベース部分10の少なくとも一部が、使用時に溝20の中に確実に保持される告部を形成している。

使用時には、ホルダ5の類部11、12の間に形成されたギャップにヘッドピース4を最初に適し、次に、ホルダ5を課20の中へ落とすことにより、ホルダ5はヘッドピースに登奪される。次に、ホルダ5のペース10に指で軽い圧力を与え、スナップ医合式の突出部15を第20の球部25に押し付け、上足突出部を図4に示すように課20のフロア24に係合させる。この嵌合した状態において、ホルダ5は、デンタルフロス軽度1の地での使用位度及び使用方向において動いたりあるいは変形しないように確実に保持される。

特に図5を参照すると、デンタルフロス転産の種々の使用方向が図解的に示されている。矢印Xは、フロス13が除接する歯の間の隙間の中で検接値間方向に 前途に移動する頬舌方向を表している。矢印Zは、フロスが歯の値を機断する運 動である近辺心方向を表している。矢印Yは、デンタルフロス袋筐を用いて坐置 平面乙において債種作用を行う歯肉切嫌方向を表している。

特に図3を参照すると、本装置のハンドルは、選正な角度に配列することができ、また、所望の形状にすることができることが分かる。使用時におけるアクセスを容易にするために、この例においては、シャンク3は、ハンドル2に対して 145°乃至180°の間の角度Bをなして伸長している。ヘッドビース4は、シャンク3に対して125°乃至180°の間の角度Aをなして傾斜している。これら特定の角度及び形状は、ユーザに対して不快感そ与えることが伝めて少なく、且つ、口の中の総ての歯に対して容易に用いることのできるデンタルフロス 装置をもたらす。後に説明する別の実施側においても同様な角度及び形状を用いることができることは理解されよう。

本発明は、構造が簡単で且つ容易に使用できるデンタルフロス装置を提供する。

本デンタルフロス装置は、客島に選所に固定することができ且つ必要に応じて交換することのできるデンタルフロス用のボルダを強える歯科用設置を提供する。 上記標準の簡単を及び容易さのために、本鉄度はデンタルフロスが益々より広範に使用されるようにするものと考えられる。デンタルフロス・ホルダは客島に交換可能であり、且つ、総ての使用方向において効果的に選所に保持されるので、使用するのに容易であり且つ安全である。

図8万至図8を参照すると、その全体に参照符号40が付された本発明の他の デンタルフロス装置が示されている。装置40は、図1万至図4を参照して上に 説明した装置と同様であり、同一の部分には同一の参照符号を付してある。この 別においては、デンタルフロス・ホルダ5のベース図分10及びヘッドピース4 の溝20は、長手方向の断面において弧状の形状ではなく既ね水平である。本発 明のこの実施剤の装置は、成形操作の要件が複雑ではないので、岩干療体になる と予測される。

図9万室図11を参照すると、本発明の別のデンタルフロス装置50が示され ている。装置50も図1万差図5に示した装置と同様であり、環棲の部分には図 じ参照符号を付してある。この例においては、ヘッドピースは、チャンネル部封 を備えており、抜チャンネル部材は、ペース51と、シャンク3から伸長する第 1の例方ウエブ52aと、デンタルフロス・ホルダ5のペース部分10を収容す る寸法及び形状を育する第2の固方ウエブ52bとを備えている。この例におい ては、ホルダを政所に保持するための追加の保持手段が促けられており、この保 **勝手段は、動方ウエブ52bから体長すると共にブラスチックのヒンジ55によ** って上記例方りエブ52bにヒンジ式に接続されている延長プレート53によっ て形成されている。延長プレート53は、内方に仲長するスナップ嵌合式の突出 那56を育しており、これら突出郎は、ブレート部材53が図9及び図11に示 すように閉止位便すなわちロック位置へヒンジ式に回転した時に、ハンドルのシ ャンク3の展別に場合する。図9及び図11に示すロック位置においては、デン タルフロス・ホルダ5のペース部分10は、使用時の記ての方向において運動し ないように完全に拘束されており、特に整固な構造を形成していることが分かる。 例方ウエブ52aは、剛方に仲長してホルグ5の顎啄11、12の一部に係合す

る質節を形成し、これにより、ホルグを遺所に確実に保持する役割を果たしていることが分かる。フロスホルグ5を交換するためには、スナップ式の突出部56 をハンドルのシャンク3から解放して延長プレート53を図11に示す解放位置へ押し、これにより、ホルグ5を取り除いて新しいホルグを選所に使くことができるようにする。被置に対するホルグ5の破者及び取り外しを容易にするために、ヒンジ55をライブヒンジ(live hinge)とすることができ、このライブヒンジは、スナップ式の突出部56をシャンク3に向けて及び/又はシャンクから離れる方向に押圧し、これにより、フロスホルグ5の挿入及び取り外しを容易にする。

図12万至図14を参照すると、その全体に参照符号60を付した本発明の別のデンタルフロス・ホルダが示されている。デンタルフロス・ホルダ60は、図7万至図8に示すホルダと両様であり、両様の部分には同じ参照符号を付してある。この例においては、フロスホルグ5を収容するためのヘッドビース4の第20は、ベース要節61、並びに、咳ベース壁部61から突出する例方ウエブ62a、62もによって形成されており、上記側方ウエブは、ホルダをヘッドビースにスナップ式に嵌合するのを容易にする内側に曲かった縁倒63を有している。例方ウェブ62の一方は、既わし字形状の延長部65を何えており、この延長部65は、プラスチックのヒンジ66によってウエブ62もにヒンジ式に接続されていると共に、内方に伸長する突出第67を有しており、旋突出銀は、図10及び図12に示すロック位度において、突出部63の間のギャップに入り、ホルグ5をヘッドビース4の週所により確実に保持する。この鉄度は、図8万至図11に示す数値と向操の題様で作動する。

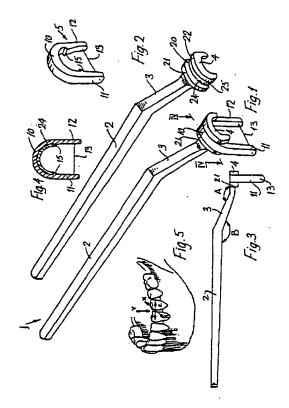
図15万至図17を参照すると、その全体に参照符号70か付された本発明の 別のデンタルプロス装置が示されている。このデンタルプロス装置は、図1万至 図5を参照して上に説明した装置と同様であり、同様の部分には同じ参照符号を 付してある。この例においては、プロスホルグ5とヘッドピース4との間の解除 可能な係合手段は、スナップ低合式の一対の突出配71を個えており、これら突 出続は、ヘッドピース4の補充的なソケット72の中に係合するようにホルダ5 のベース部分10から伸長している。ホルグ5を取り外すためには、ユーザはス

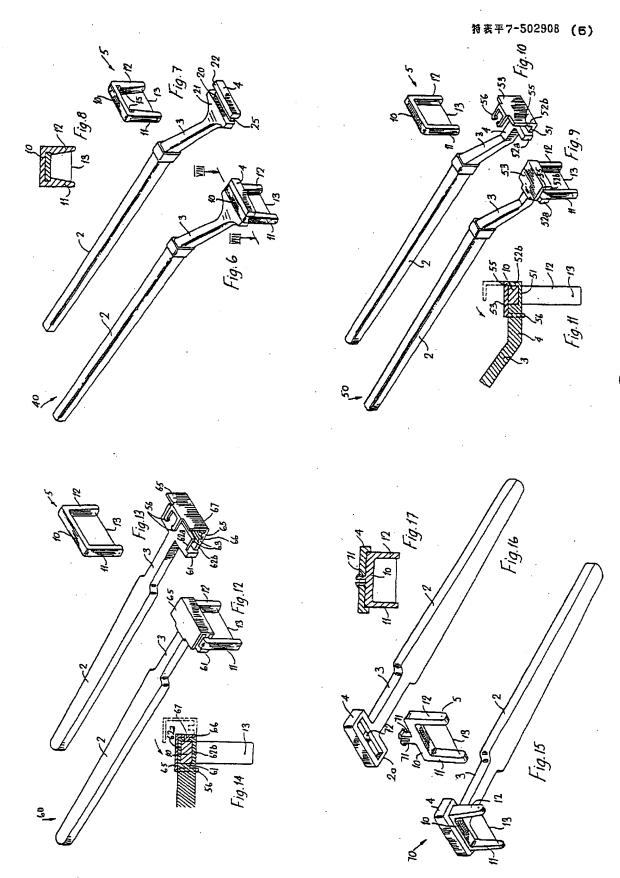
ナップ式の突出版?1を互いに向けて引っ張り、これら突出版がソケット72を 自由に通過できるようにする。この例においては、第20の両端部は閉じており、 ヘッドピース4の通所にホルダ5を確実に保持するようになっていることが分か る。

スナップ式の突出部71を広げてロック位置に保持するための追加の保持手段 を取けることができる。この追加の保持手段は、突出部71の間に挿入されるス パイク形状の部材を備えることができる。このスパイク形状の部材は、ヒンジ構 遊によってヘッドピース4に取り付けることができる。

・ 木デンタルフロス装置は、適宜な材料の構造とすることができる。本装置は、 実質的にプラスチック材料から形成するのが好ましい。ヘッドピースは、ホルダ の材料と同一又は異なったプラスチック材料とすることができる。

上述の本発明の実施例に関する多くの変更例は明らかであり、従って、本発明 は、その構造及び細部において変更することのできる上述の実施例に限定される ものではない。





特表平7-502908 (6)

PCT/1E 82/00007

				· ** **	_	PCT/EE	92/00007
		-			min'		
	5 A61C15/0	-	-				
101.61	. 3 NOLL1374	•					
R. PMUDS	ELYNG (ED						
		100					
			_ •		<u> </u>		
int.Cl.	. 9	A61C : 821	50				
		Description III	P	ng Minamat Basi Lipatahal In Sar F			
m. pocu	ALKE COMERCE	D TO DE RELEVANT	-				
, لعظمت	Cham of B					200	** ** CTO #* **
x	3 Octob	150 579 (PAYEN) er 1980				1-6	.9,13
	12,33	e 3, 1(se 17 - 1:	ioe 25; 	figures			
x	1 July	892 249 (JONES) 1975 n the application	n		•	1-1 20-	
		whole document				٠	_ '
x		708 369 (SAUREH) ber 1987					.9, 16, 23
•		whole document	_				
I	23 Janu	187 899 (KEHNE) ary 1940 umn 2. line 22 =	11ne 48	; figures		1-7	, 12
	3,4				-/	1	
4 4 4 4			-	-	principal relationship in the second	The street of th	to the fire the fire the fire
				, , , , , , , , , , , , , , , , , , , 			
	30 KOVEN	BER 1992				04. 12.5	72

DE BOCTIMENALE CONSIDERED AR SE STEENALL LEGILLENTED NADM DIS SESSION PRESEZ.						
Co	C1700 # Dunny, 100 Cales		America in Chair An			
	40,4,2 502 512 (RUYER) 20 June 1985 see the whole decement		1,2,5,6, 9,20-23			
h	DE,C.173 899 (LIESKAR) 22 November 1905 500 the whole document		12, 14, 16, 17			
ŀ						
		N				
	•					
	•					
		•	-			

国条筑芸能管

IE 9200007

This square fails the proper (reliably messages training par has squared community which for the color-communicated homeocoloris the Desiryman Franch Order EOF file on S For Computer two as contained in the Desiryman Franch Order EOF file on S For Computer Franch Order is to transpirate for these particulary reliable was according to the purpose of information, 30/11/92

	Publication date	7		
FR-A-2150579	03-10-85	Nove		
VS-A-1892249	01-07-75	Hong		
DE-U-8708369	10-09-67	None		
JS-4-2387899		None		
rD-A-0502533	20-06-65	AU-A- EP-A-	3784285 0169216	26-30-35 85-10-65
DE-C-173899		Nane		
				*

フロントページの統き

(81)指定国 EP(AT, BE, CH, DE, DK, ES, FR, GB, GR, IE, IT, LU, MC, NL, SE), OA(BF, BJ, CF, CG, CI, CM, GA, GN, ML, MR, SN, TD, TG). AT, AU, BB, BG, BR, CA, CH, CS, DE, DK, ES, FI, GB, HU, JP, KP, KR, LK, LU, MG, MN, MW, NL, NO, PL, RO, RU, SD, SE, US

(72)発明者 サリバン、ポール アイルランド国ダブリン 15. キャストル ノック、アシュレイフ・グローブ 7